

紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

紫友同窓会 会報7号に寄せて

紫友同窓会 会長 新納 時英
(昭和44年卒)



紫友同窓会会員の皆さまに於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げますとともに日頃から同窓会運営にご支援、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナも一時は収束の兆しがあったものの、新たな変異株による感染者発生で予断を許さない状況になっており、会員の皆様のライフスタイルにも今後影響が少なからずあるのではと危惧しております。

共同獣医学部4期生も昨年同様の卒業式となりましたが、在学中の思い出とともに、母校で習得した知識と技能を携え実社会で活躍されることと思っております。教職員の皆様方も、昨年より引き続きコロナ禍での対策について様々な方法で対処されており、そのご労苦は大変なものであろうと、改めて同窓会として敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

報道によれば、南九州畜産獣医学拠点事業に母校も参画され、動物福祉に配慮した畜産農場のモデル創生や畜産獣医学の実践的教育等の拠点の構築等、産官学連携による将

来の獣医学を見据えた活動を計画され、地域貢献と国際化も含めさらに取り組んでおられるとお聞きし、同窓会として嬉しく思う次第です。

今回、新入生のオリエンテーションに、同窓会の意義や活動等を説明する機会を設けていただき、新入生の皆さんには同窓会への理解をいただけたと思っております。今後とも機会あるごとに母校の現状や在学生の方々の要望をお聞きしながら、各種事業所での臨床実習やインターンシップ等の場を提供し、学外実習を通じて、実社会で獣医師が関わる業務を体験することにより有能な獣医師の誕生を同窓の皆様とお手伝いできれば、勤務先等で活躍されている母校の先輩の助言等を得ることでより一層の理解、習得が出来るのではと思っております。

今後とも地域での「各地同窓生便り」を数多くお寄せいただき、加えて、新会員を含めこの会報が大切な情報交換の場となり会員皆様の絆が深まるよう各職域の近況等情報の提供をお願いする次第です。

また、2021年版同窓会名簿も発行いたしました。十分活用いただき、会員相互の連携に役立てていただければ幸いです。

改めて同窓会活動の趣旨にご賛同賜り、同窓会活動への積極的なご参加・協力と共同獣医学部の発展のためのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

共同獣医学部の 現況について

学部長 三角 一浩
(昭和61年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。また長年にわたる同窓会の皆さまからの多大なるご支援とご指導をいただき、心より感謝申し上げます。

鹿児島大学共同獣医学部は、令和3年度末をもって10年を迎えます。これまで欧米水準の獣医学教育を目標に教育改革を進め、令和元年度には、欧州獣医学機関協会 (EAEVE) による獣医学教育評価を受審し認証を取得しました。今後も獣医学教育改革を継続し、EAEVE 認証更新を繰り返し維持していくことで、我が国における獣医学教育改革を先導していきます。また国内の他大学におけるEAEVE 認証取得を目指した教育改革を、認証取得校という立場でコンサルテーションを行い、後方支援していきます。

我が国の獣医学教育では、欧米の獣医師養成課程で通常行われる「大学教員による産業動物の参加型臨床実習」が十分に実施できておらず、その代替法として全国のNOSAI診療所等への学外インターンシップが実習の主体となっています。動物衛生学や食品衛生学実習も全国の家畜保健衛生所や食肉検査所等に頼らざるをえない状況です。しかしこれら代替法には、受入できる学生数に限界（全国200名程度の学生が対象）があり、大きな課題となっています。今後

は、学外インターンシップのみに頼ることなく、教員が大学でしっかり教えるという体制づくりが肝要と考えています。

そのため、鹿児島県の地にある獣医学部として、畜産獣医学の教育研究拠点の形成に取り組んでいます。平成27年8月に、大崎町の活性化センターを借り受けて開設した「大隅産業動物診療研修センター」では、特任教員2名を配置して産業動物の一次・二次診療を行い、それに本学の学生を同行して行う参加型実習の初期モデルを作り上げました。次のステップとして、曾於市の財部高校跡地に、「動物福祉に配慮した畜産農場の近未来モデル」を整備し、それら施設を活用して、より規模の大きな参加型実習の場を作ることと考えています。ここには自大学のみならず他大学からも学生を受入れて、卒業教育も含めて年間最大500名の実習を行うことを構想しています。これまで「曾於市と国立大学法人鹿児島大学との南九州畜産獣医学拠点整備における連携協力に関する覚書」を締結し、宮崎大学とも意見交換を重ねて「国立大学法人宮崎大学と国立大学法人鹿児島大学との南九州における畜産獣医学の教育・研究に関する合意書」を締結しました。令和3年11月には、曾於市と鹿児島大学との南九州畜産獣医学拠点事業に係る合同記者発表を行い、令和6年4月の運営開始に向けて、施設整備の準備を進めています。

本県の特徴を活かした畜産獣医学教育の重点化を進めることによって、地域獣医業の発展に貢献するとともに、鹿児島大学大学院共同獣医学研究科と連動して、畜産獣医学分野の教育研究を進展させ、地域から世界に向けて活躍する獣医師の養成に取り組んでいきます。

坂本紘先生追悼

恩師、坂本紘先生の御逝去を偲んで

鹿児島大学共同獣医学部教授 三浦 直樹
(平成9年卒)

令和3年11月15日、鹿児島大学卒業の名誉教授である紫友同窓生の坂本紘先生が永眠されました。“無常の風は時を選ばず”。まだまだ、叱咤激励を乞わなければない新米教授の私には、大きな衝撃でした。私は、坂本先生に獣医界の素晴らしさと重要性を教えて頂き、大学院も含め8年間も研究室にお世話になりました。

坂本紘先生は、昭和35年に鹿児島大学に入学され、41年から教員（助手）となられた本学の生え抜きであります。その後は、教授としてご退官されるまでの41年間の長きに渡り、後進の教育、獣医臨床の発展、さらには、多くの卒業生の心のよりどころとして、常に第一線でご活躍されました。その業績は、100報を超える学術論文、多くの学会賞が証明しています。ご退官後は、10年以上も鹿児島県獣医師会の会長として、獣医師の社会的立場の向上に尽力され、動物専門学校校長や小動物二次診療施設の院長として、多くの人材育成と社会貢献をされました。

坂本先生は、豪快な人という印象が強いです。が、“One for all, all for one”の精神を何よりも大切にされる本当に気遣いの素晴らしい優しい人でした。動物にも本当に優しく、入院室で元気のない動物にそっ

と話しかけていた姿は今も心に焼き付いています。また、治療や手術では妥協は一切せず、私たちも“力一杯”全力でやらせてもらいました。本当に心が広い先生であり、“労は惜しまず、責任は取る”姿勢と“功績を若い獣医師に取らせる”ことのできる真の教育者でもありました。「やってみろ」と言われて、自信を付けた卒業生も沢山いると思います。人は信頼されて任されて成長するものだという教えを私も体で教えてもらいました。「あれを頼んだぞ！（何を頼まれたのかは自分で考えろ）」と、後ろ姿だけを見せて笑いながら、夜の街に颯爽と立ち去って行く姿は今も脳裏に焼き付いています。

また、坂本先生の教えは獣医学にとどまらず、自ら率先して「人生はこんなにも素晴らしい、楽しいことがある」ということを、学生に教えられていました。多くの卒業生が坂本先生の教えのおかげで、「このくらいの事」と困難を乗り越えてきたと思います。私は声に出して褒められた記憶はないですが、「バカ、お前、そうじゃないだろ！」と言われたことが、心地いい記憶であるのは、坂本先生の言葉には常に“本当の愛情”があったからです。

坂本紘先生、多くの卒業生は先生より頂いた心からのご教授を魂に刻み、生きています。天国でも旨い酒を飲みながら、変わらぬ愛情で見守っててください。合掌。



若かりし頃（旧家畜病院前）と喜寿の祝賀会の坂本先生

学生便り

全日本学生馬術大会で優勝

令和3年10月30日に山梨県で開催された全日本学生馬術大会のMD障害飛越競技で学部3年生の安城駿介君（神奈川県出身）が愛馬アンカットジュエル号に騎乗し見事に優勝しました。このコロナ禍でアルバイトが減って部活費不足のために出場が危ぶまれましたが、クラウドファンディングで遠征費を獲得して出場しての快挙となりました。今後益々の活躍を期待します。



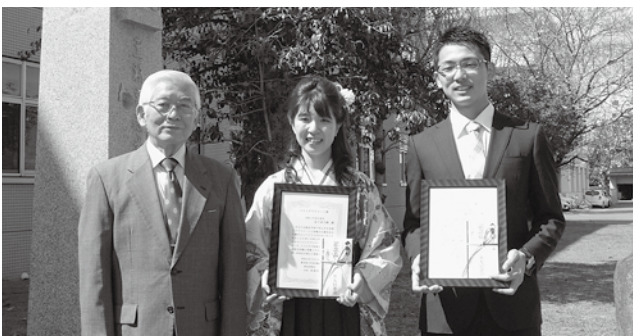
同窓会活動便り

*学部第4期生巣立つ！

共同獣医学部となって第4期生32名が3月25日社会へ巣立って行きました。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症予防対策のために卒業式、学部の学位記授与式、同窓会・学部・学生合同開催の卒業記念パーティーなどの祝賀行事は全て中止となり、何とも寂しい門出となりましたが、それぞれの目標に向かって研鑽して立派な社会人になってくれることを期待しています。

*ベストクラスメート賞

同窓会は、卒業生の中からクラスの取りまとめを最も熱心に行った男女各1名を、ベストクラスメート賞として毎年表彰しています。令和2年度は、藤澤朋也会員、岩下朋乃樺会員が選出され、事務局で会長から賞状と記念品が手渡されました。



*学生支援

昨年度から学生の学外実習のための支援を開始しましたが、今年度からは年度事業として一般会計に計上して継続されました。

*会計報告

令和2年度の一般会計収支決算書（令和3年6月の書面会議による評議員会で承認）の概要を表に示しました。収入3,440,497円に対し支出792,064円で、2,648,433円が繰越額です。なお、学術基金の収支決算では、収入5,690,463円に対し、102,400円の支出があり、5,588,063円が繰越額となっています。

令和2年度の一般会計収支決算書（単位 円）

会計	項目	決算
収入	繰越額	2,322,990
	会費	787,500
	学生会費	280,000
	雑収入	7
	繰入金	50,000
	合計	3,440,497
支出	会議費	12,355
	通信費	339,561
	寄附費	5,000
	人件費	110,200
	卒業式関連費	40,000
	同窓会連合会費	100,000
	その他	184,948
	合計	792,064
繰越し	(収入 - 支出)	2,648,433

* 会費等納入のお願い

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（1,500円）及び学術基金（寄附金、一口500円）から成り立っています。会費等の納入用に、年会費のみや年会費と学術基金をセットにしたコンビニ・LINE Pay用の専用振込用紙も同封しましたのでご利用ください。皆様からの浄財は、会費発行や共同獣医学部への支援等に大切に使用させていただいております。今後とも同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

* 学部教員の異動

新任：森脇 潤 助教（産業動物内科 R3.4.1）

奥谷 公亮 助教（TADセンター R3.6.1）

谷 浩由輝 助教（動物病院 R3.9.1）

退職：石川 真悟 助教（産業動物内科 R3.3.31）

（発令日順）

* 同窓会役員

現役員名簿は下記のとおりです。

顧問	西中川 駿(36)
会長	新納 時英(44)
副会長	梶 哲郎(44) 鶴田 勉(49) 宮下 善穂(50) 松元 光春(55)
監事	伊地知洋幸(54) 吉満 文隆(57) 上村 利也(02)
評議員 選出母体 学外	県畜産課 福重 哲也(03) 新原 慎一(16)
	県生活衛生課 我部山 厚(04) 河野 友紀(20)
	試験場関係 鬼塚 剛(60)
	中央家保 古川 雅浩(58)
	県食肉検査所 姫木 学(60)
	市保健所 川原 成明(61)
	市食肉検査所 田邊 隆(60)
	市公園公社 櫻井 晋子(06)
	経済連 川畑 忠祐(13)
	開業 西 洋志(11)
一 般	松元 計士(36) 坂本 紘(40)
	石黒 茂(41) 永野 保任(41)
	安田 宣紘(43) 田原 健(45)
	高橋 亘(46) 高瀬 公三(50)
	櫻井 幹男(51) 北野 良夫(52)
	紺家 亮爾(52) 山下 静馬(53)

評議員 選出母体 学外	一 般	上村 祐子(56) 西田 浩二(56) 徳田 祐二(57) 佐々木幸良(58)
	鹿 大 医	瀬戸山健太郎(12)
評議員 選出母体 事務局		宮本 篤(57) 三角 一浩(61) 帆保 誠二(62) 小尾 岳士(02) 藤木 誠(07) 畠添 孝(08) 三浦 直樹(09) 矢吹 映(09) 安藤 貴朗(13) 高橋 雅(16) 山下 紀幸(21) 一二三達郎(22) 古澤 悠(24) 野口 亜季(25) 蔵元 智英(27)

* 訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

寺口 時夫 (S18) 内田 照章 (S22)

小島世志夫 (S30) 川上 博文 (S36)

井上 博詮 (S36) 上畠 義弘 (S36)

江崎 博 (S38) 重本 重典 (S38)

安田 哲也 (S38) 坂本 紘 (S40)

関谷 幸弘 (S42) 船越 怜 (H17)

宮崎 大喜 (R2入学)

（敬称略：令和2年12月～令和3年12月末にご逝去）



編集後記

新型コロナウイルス感染症の発生も小康状態となり、昨年より穏やかに新年を迎えられたかと思います。しかしながら、ここに来て爆発的な再拡大の様相を呈しており、いつ終息するのか先行きが見えなくなりましたが、会員の皆様におかれましては、これまでの予防対策をしっかり継続してください。さて、今回は会報の発行が遅くなったことをお詫びします。会報は皆様からの情報提供の場としてこれからも発信していきますので、同期会や支部会のお便りをお寄せください。

連絡先

鹿児島大学共同獣医学部解剖学研究室内

紫友同窓会（事務局）

TEL：099-285-3538/8711（FAX 兼用）

E-mail：k2088185@kadai.jp

（お願い：出来るだけ FAX またはメールをご利用ください）